

令和7年度 こばとこども園 教育活動等に対する学校評価

R8年2月27日

- 1 こども園教育目標 . . . 明るく素直な子  
 2 本年度の重点目標 . . . 笑顔あふれる安心の基地

- 思いやりのある子  
 進んで遊ぶ子  
 考えて遊ぶ子

※評価点 4(十分に成果があった、十分にできた) 3(成果があった、できた) 2(少し成果があった、すこしできた) 1(成果がなかった、できなかった)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価				学校関係者評価委員 御意見
		R5	R6	R7	振り返りと改善策	
1 教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3.2	3.2	3.2	・意味を正しく理解しながら、社会性、自主性、創造性を大切に、意識して保育していきたい。 ・再確認することができた年だった。	・園の教育理念、教育方針はできれば全員が4と回答できる様にしてほしい。 ・認定こども園は保育の幅が広く、難しい部分もあると思いますが、職員間で情報共有していくことが大事。 ・青島小学校ともしっかり連携してほしいと思います。 ・幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との連携について、職員の方の意識をもっと高められて、日頃実践していることが子どもの成長のどんなことにつながっているのかを自覚しながらできるといいと思います。 ・教育方針・目標、10の姿を意識して保育に取り組んでくださっていると嬉しいです。今後その姿勢を大切にしていってください。 ・小学校の授業を参観する機会など、お互いの交流の機会があるとよいと思います。 ・小学校へのスムーズな移行ができない子もいるというのは、考えたことがなかったです。これからも取り組んでいってほしいです。
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	3.2	3.2	3.3	・再度確認したい ・保育要領等、再度確認したいと思う。	
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	3.4	3.6	3.3	・ランド：季節行事に合わせて進めている ・各年齢に合った指導計画や個々に合わせた指導計画が立てられたと思う。 ・週案はいただいておりますが、月案などは見る機会がほとんどありません。	
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	3.6	3.4	3.5	・保健指導の内容を年齢ごとに変え、わかりやすく理解しやすい内容を心がけている ・子どもの実態を把握し、それに合わせた保育を心掛けてきた。 毎年子ども様子も違うため、その子達に合わせた活動内容を考えることを心がけている。	
	⑤こどもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	3.4	3.6	3.4	・公開保育もあったため、特に今年は環境構成を工夫してきた。子どもがワクワクする気持ちを大切に保育するよう努力している。 ・子どもたちがやりたい！こうしたい！という思いを汲み取り、小物を作ったり、環境を整えている。 ・毎日の振り返りや環境構成は欠かさず行っている。 ・常に子どもたちの動きを見ながら、必要な物を用意できるよう心がけている。	
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との連携・接続(架け橋カリキュラム等)を意識している	2.7	3.2	2.9	・子どもの特性や、得意・不得意によって出てくる姿があると思うので、一人ひとりの発達に合わせた援助や働きかけをしていきたい。 ・もう少し意識して保育したいと思う。 ・今年は小学校との連携も多少だがあったため、そういう機会はとても大事だと思う。お互いの活動内容、生活習慣を知ることはつながりにも大事である。 ・もう少し勉強が必要。	
2 保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、こどもの体調が悪くないか確かめている	3.9	3.9	3.9	・朝の受け入れや点呼の際に一人ひとりの様子を見て、普段と変わらないか体調が悪くないか判断している。 ・登園時の受け入れの時は、子どもの様子を見たり、表情を見たり、時には、保護者に体調の確認をしている。 ・朝に子どもたちの体調面など講師の先生たちと共有しようと心がけている。 ・前日までの体調不良や変わった様子など、朝ランドにもわかるようになったのでありがたい。	・朝の受け入れ時に、子ども達の表情を見ながら保育していることがとても良いと思います。 ・不適切保育は、教職員同士が互いにチェックできる関係が大事だと思います。 ・個に応じた保育と言うことは簡単ですが、なかなか難しいと思います。苦労されていることが読み取れます。年間計画を見ますと行事が多いような気がしますが、いかがでしょうか。忙しいですか。 ・今の時代、直接体験が不足しがちな傾向にあります。具体的な操作活動、直接的な体験活動を大切にしていってください。 ・保育のあり方について、情報交換する時間はとても大切だと思います。そのような時間の確保を大切にしていってください。 ・子供の話から察するに、いつも色々なお話を聞いてもらって満足しているようです。ありがとうございます。
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	3.6	3.7	3.7	・個の理解度に差があるので、わかりやすく個にあった支援を心がけている 個人差があるため、その子にあった支援を常に考え、対応している。 ・個人記録をつけながら個の様子を振り返り、今後の支援も考える場としている。 甘えたい気持ちなど受け入れて側についてあげたいという思いもあるが、担任の思いもあるので難しいところもある。	
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、こどもの自主性・自発性を大切にしている	3.1	3.4	3.4	・子ども主体に考えたいが、行事や日々の生活に終われ余裕がない。子どもたちとやりたいこと、自分が子どもたちに提供したいものは沢山あるが日々追われすぎている。 ・子どもの意見を最後まで聞き、まずは「意見を言えた」ことをほめてあげたい。 それとは別に、こういう考え方もあるよ、と、正しい方向に導いていくことも心掛けている。 ・2学期は、午睡がなくなった事で時間が作れている。	
	④行事や活動を通して、こども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	3.2	3.4	3.6	・異年齢児との関わりが、すごく刺激となり、真似をする子も多かったため、今後も大切にしていきたい。 ・行事を通して、子どもたちの交流が盛んになったり、お互い良い刺激になっていると感じる。 ・意図的な投げから、自然にかかわり・交流できるようになっている。 ・コロナ禍に比べてかなり増えてきた。 子ども同士で刺激を受けている様子が見える。	

2 保育の在り方・子どもへの対応	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	3	3.3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの話、園児の行動など共有できるように、ノートを利用している</li> <li>・15時に退勤するが、エルガナの活用によって他学年の様子、情報を知ることができ、理解に努めることができています。</li> <li>・職員会議や終礼で情報がもらえるのでありがたい。</li> <li>14時までの保育に入っていないランドの支援の先生方どこまで伝わっているのかは疑問である。</li> <li>・職員室内で話し合ったことが講師まで伝わらない。</li> </ul>	
	⑥支援の必要な園児の教育・保育について、定期的に話し合う機会を設け、個に応じた個別の支援計画を立てている	2.5	2.7	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に組んでいる先生と話し合う機会はあるが、他の先生と話し合う機会は少ない。自分から支援方法について質問してその子にあった支援を探している。</li> <li>・学年会で話し合う時間が限られているので、日中、園児の行動や様子を見ながら、情報交換をしている時もある。</li> <li>・今年度は、支援の必要な子や並行通園児が多く、全体で話し合う機会がとれていない。またケース検討会議をやってほしい。</li> </ul>	
	⑦不適切な保育とならないように、定期的にチェックや話し合う機会を設け、こどもの最善の利益を尊重した教育・保育に努めている	3.2	3.2	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不適切保育にならないように、保育の専門職としてふさわしくない言葉の例や、チェックリストなどを見直している。</li> <li>また、子どもに対する接し方が適切であったか、もっと適した接し方があったのではないかと、日々の保育を振り返るよう心掛けている。</li> <li>・不適切と思う事を、耳にしたり感じたりする時もあるがその場では子どももいるのでなかなか話ができず教育時間後の保育に入ってしまう為時間が取れず、その場で子どもの援助が終わってしまう。担任に伝わってほしいが、難しい。</li> </ul>	
3 教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	3.2	3.3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と話す時間も多く、意識することができた。</li> <li>・こどもの声を聞く事を大切にしている。言葉で言えずに、表情で助けを求めたり嬉しさを表現する子もいるので、言葉で伝えられると感じられるように寄り添う事を大切にしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の皆さんも楽しくてワクワクする環境ができるとよいと思います。</li> <li>・⑤が満点なのがとっても素晴らしい。これこそ保育だと思います。何よりも大切にしてほしいです。</li> <li>・職場の人間関係が良好であれば大抵のトラブルは解決すると思います。よいチームワークの職場であることを願います。</li> <li>・関わったどの先生も笑顔で明るい雰囲気があり、努力されているように感じます。</li> </ul>
	②こどもや、保護者との対応には、公平さを欠かさないように平等に接している	3.6	3.7	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この子はこういう子、というふうに決めつけがちな職員がいることが気になる</li> <li>・保護者とは朝の受け入れてお会いできる方に限られているが、園での成長を感じた事や、日々の会話などで楽しかった事などを伝え共有できるようにしている。偏りがあるので小さな事でも、たくさんお伝えしていきたい。</li> <li>・それぞれの保護者に、1日の出来事を伝えることができた。</li> </ul>	
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	3.7	3.7	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き気をつけていく。</li> <li>・自身の健康管理をしっかり行うように心がけていく</li> </ul>	
	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	3.2	3.3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係が大事な職場。どの先生とも笑顔で接することを心がけている。楽しく仕事がしたい！</li> <li>・勤務時間の関係で関わらなかった先生も多かった。</li> <li>・共通理解を大切に、気づいた事などを話し合ったり、挨拶を交わす事を大切に心がけていく</li> </ul>	
3 教職員としての能力や良識・適正	⑤こどものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	3.9	3.8	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その場にいた職員や子供たちに知らせ喜びを共有できるように心がけている</li> <li>・子どもの成長をこんなに近くで見守り、感じられることを幸せに思う。</li> <li>・子どもとも保護者とも喜び合うことができた。</li> </ul>	
	⑥園のこどものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	3.3	3.2	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランド：朝点呼時、ニュースになっていることなどを知らせている</li> <li>・他のことにも目を向けていきたい。</li> <li>・社会の出来事に関心をもって過ごしていきたいと思う。</li> </ul>	

評価対象	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員	
		R5	R6	R7	御意見	
4 保護者への対応	①こどもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	3.6	3.7	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランド：降園時に必要に応じて伝えている</li> <li>・子どもの体調変化はもちろん、できなかった事ができるようにいった等、お迎え時に、保護者に話しをする機会を作っていく。</li> <li>・ランドの子たちの保護者にもなるべく声かけることを心がけている。</li> <li>・降園時に必要に応じて伝えている</li> <li>・引き続き、小さなことも伝えていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とのコミュニケーションが大切だと思います。普段から先生と保護者との会話が必要。信頼関係が大切。</li> <li>・保護者アンケートQ12でもA・Bの合計が昨年度よりも上回っていて、Cの割合が半減しているところからも、成果が出ていると思います。「愛育箱」の設置など、広く耳を傾けようとする姿勢からも成果が出ていると思います。</li> <li>・理不尽な要求をする保護者もいると思います。若い保育の先生が一人で抱え込まないでください。情報を共有しながら、できないことはできないとはっきり言うことも必要ではないかと思っています。</li> <li>・上の子から数えて6年間、通わせていただきました。特に上の子の時は、子育ても初めての経験ばかりで、横のつながりを作るのも苦手な妻には、色々な不安があったと思います。その中で教職員の皆様との交流で救われる機会が多くあったように感じています。ありがとうございました。保護者も初心者からベテランまで様々ですが、保護者を育て、安心させるといった視点も評価できるのではないかと思います。</li> </ul>
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3.4	3.5	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も意識していく。</li> <li>・距離感を保つ事は意識しているが、話しやすい雰囲気を持つよう砕けた言葉遣いになってしまう事があるので気を付けたい。</li> <li>・相手の気持ちを汲み取りながら上手く話の筋が見えてくるよう努力をする毎日です。</li> </ul>	
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	3.8	4.0	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充分注意している</li> <li>・引き続き心がけていく。</li> </ul>	
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	3.8	3.9	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝手に判断せず上司に伝え処理している</li> <li>・今後も、きちんと対応していく。</li> <li>・保護者からの意見を聞いた場合は、報告するようになっている</li> <li>・機会は少ないが保護者からの伝達事項や質問などは都度担任の先生へ伝えている。</li> </ul>	
5 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	3.0	2.9	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問に正しく答えるために、私自身もう一度理解する必要があると感じている。</li> <li>・担任として再度確認することができた。</li> <li>・もう少し勉強が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元町内会や行政とも連携して、地域とのつながりは深くしたい。社会との接点もあったほうが良い。</li> <li>・学区全体であいさつ活動に取り組んでいるところです。園でも是非保護者にあいさつの大切さを呼びかけてください。</li> <li>・様々な行事を通じて、地域社会とのつながりを実践されていることがわかりました。</li> </ul>
	②こどもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	2.7	2.6	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館から、絵本、ビデオ、紙芝居などを借りてくる</li> <li>・藤枝市の情報をもっと知って理解していきたい。</li> <li>・今年は近くの公園・広場などよく調べることができた。</li> </ul>	
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2.5	2.7	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちびっこ開放をもう少し宣伝アピールした方がいいのではないかと</li> <li>・保護者にも伝えていけたらいいと思う。</li> <li>・地域開放や子育て支援についての知識が少ないため、増やしていきたい。</li> </ul>	
6 安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	3.5	3.5	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険箇所の報告があったときは、その場所原因を確認している</li> <li>・遊具の使い方（大型遊具、なかよし広場、わんぱく広場）を確認するようにしている。</li> <li>・エルガナ等を通して、共通理解をしていく</li> <li>・危険がないよう常に意識して生活することができ、ヒヤリハットの事例には、その都度改善することができた。</li> <li>毎日、保育後の環境設定と朝の受け入れ準備で点検している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全は何よりも優先すると思います。普段から安全教育の情報を共有することが大切だと思います。</li> <li>・子どもたちが安全な環境の中で育てられることは最も大切なことです。努力されているがわかりますので、続けていってほしいです。</li> <li>・安全は最優先すべき事項だと思います。求められるハードルは高いと思いますが、頑張ってください。</li> </ul>
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	3.4	3.7	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に組んでいる先生と訓練後こうした方がよいなどと役割を話し合うことができた。ただ、一人で見るときのことも考えて訓練する必要もあると感じた。</li> <li>・防災関係は、食事関係を含め計画、購入を行い十分な備蓄をしている</li> <li>・毎月訓練することで子どもたちと、その都度再確認できた。</li> </ul>	
	③健康で安全な生活を守り育てるために、感染症対策等に自ら取り組み、こどもや家庭への啓発に努めている	3.5	3.6	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒、換気、空気清浄などをしっかりやっている</li> <li>・こどもたちに、手洗い指導、うがいの指導、またポスター掲示等、ほけんだより発行などで感染症予防に努めている。また、研修会への参加をしている</li> <li>・家庭への啓発は、もう少しこまめに行ってもいいのかなと感じる。</li> <li>・手洗い、うがいの徹底をしていく</li> </ul>	
	④閉じ込め・置き去り・取り残などないように状況に応じ、点呼や人数確認を確実にやっている	3.7	3.9	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き注意していく。</li> <li>・遊戯室や戸外、散歩などに行った際には必ず人数確認をし、漏れのないようにしている。</li> <li>・担任と協力して、必ず、人数確認をしていく</li> </ul>	

7 研 修 と 研 究	①遊びと生活の専門性（職務の専門性）を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	2.9	3.2	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こうあるべき、という固定観念にとらわれず、時代の変化に対応し、新しい保育観を取り入れ、より柔軟に保育に向き合っていきたい。</li> <li>・様々な研修への参加はしている。</li> <li>・色々な先生の保育を見て、遊びの知識向上を心掛けている。</li> <li>・学年の園内研修には講師も参加できるといいと思います。最近では園内研修の指導案も講師には配布されないのて。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTはツールであって目的ではないので、上手に使うことが大切。日々は勉強と言われます。知識や技能はあればあるほど良いと思います。</li> <li>・ここ数年の世の中の動きが激しく、それに伴って教育もどんどん変化していきます。園も学校も日々ブラッシュアップが求められる時代ですので、先生方の視野を広げ、深めていくためにも忙しい中ですが、研修が充実していくよう工夫できるとよいと思います。学校評価アンケートの項目なども小学校のものとお互い参考にするのはいかがでしょうか。</li> <li>・講師の方も職員の一員であることは変わりません。同じ歩調で子どもを保育していくためにも講師の先生もぜひ研修の機会をつくってあげてください。</li> <li>・お互いの保育を見合う機会など作っていったらどうでしょうか。（たとえば短時間でも）</li> <li>・仕事に追われる毎日だと思いますが、本を読んだり美しいものを見たり旅行に出かけたりするなど、自分を磨いて人間性を豊かにしていく努力を忘れないでください。そういった過程でその先生の個性やよさが発揮されていくようになってきていると思います。</li> <li>・パステルやYouTubeをはじめとしたSNSの活用がされており、デジタル化への取組が進んでいるえんだと感じています。</li> </ul>
	②日々の実践を見合い、検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋がっている	3.0	3.3	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の日々の保育はどうなんだろう、適切にできているのか不安になることもある。学年会や、普段の他の先生方との会話の中で振り返り、見つめ直していきたい。</li> <li>・自分は実践を見てもらう機会がなかった。</li> <li>・園内研修で何をしているのか、どんな意見が出たのかなど知る機会がありません。</li> </ul>	
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	3.3	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩みやアドバイスを毎日沢山貰いとても学びになっている反面、主任、講師の先生に言われないうに保育をしようという風になってしまっている。自分はあまり器用ではないし余裕もない、子どもたちの対応でいっぱいだったけど、一日の中での保育一つ一つにアドバイスをもらい、それをありがたいと思う反面、私らしさがなくなっているような気がした。こう言われるからこうしよう。子どもたちを急かしてしまうかもしれないけど、こうしよう。のような保育をしてしまっている。</li> </ul>	
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心を持っている	3.1	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のことにも目を向けていきたい。</li> <li>・経験の浅い先生方の保育や発表会の台本を見ていると、ディズニーランドでもいいので、劇団四季などの舞台やショーなどをもっと観るといいのになあと思うことがあります。</li> <li>・以前は職員旅行でそういう機会もあったのですが、時代も変わってしまったので、自分で求めていくしかないのですが…</li> </ul>	
	⑤パソコンやタブレット・スマートフォンなどのICT機器を前向きに活用し、教育・保育の充実に努めている	2.9	3.0	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンや、タブレットの使い方があまりよく理解していないため、使いこなせていないので、努力したいと思う。</li> <li>・わからない事は、同僚に聞いて教えてもらったり手伝ってもらい取り組んでいる。</li> <li>・得意な人に頼ってしまうことも多いため、自分でもできるように手順表などを作っていきたい。</li> <li>・わからない時は得意な方に聞き覚えることで、使いこなせるようになり楽しさを感じている。</li> </ul>	

115 118 118

**<こども園の教育・保育をより充実させていくための提言>** 充実・改善事項、厳選・削除事項など御意見をお聞かせください。

・きめ細かく丁寧なお仕事をされていることがよくわかりますが、親や世間から要求されていることが多すぎるのもまた事実。先生方にはもっとゆとりを持ってお仕事を進めてほしい。思い切って行事の精選など、考えられてもいいかもしれません。どうかこれからも専門職のプライドを持ってお仕事を続けていってください。私の信条としては、整えられていることの弊害ということもあると思います。（自分で工夫しない、人に頼る、楽な方向を選択するなど）失敗したり、壁に突き当たったりして自分で考えて行動して乗り越える人づくりが大切ではないかと思ひます。そんな子どもを育ててほしいです。

・すでにインスタグラムなどでの発信活動をされていますが、子供たちの様子を見ることができると貴重な機会ももっとたくさんあっても良いと思ひました。親のエゴですが（笑）